
平成 26 年 第 2 回定例会

美 唄 市 議 会 会 議 録

平成 26 年 6 月 12 日 開会

平成 26 年 6 月 23 日 閉会

美 唄 市 議 会

平成26年第2回定例会

美唄市議会会議録目次

第1号（6月12日）

開会宣告	2
第1	会議録署名議員の指名 2
第2	会期決定の件 2
第3	諸般報告 2
第4	議長報告 2
第5	市政並びに教育行政報告 2
第6	報告第6号 例月出納検査結果報告 4
第7	報告第7号 例月出納検査結果報告 4
第8	報告第8号 例月出納検査結果報告 4
第9	報告第9号 例月出納検査結果報告 4
第10	報告第10号 定期監査報告 4
第11	報告第11号 美唄市土地開発公社の経営状況説明書提出の件 4
第12	報告第12号 株式会社美唄ハイテクセンターの経営状況説明書提出の件	4
第13	報告第13号 株式会社ベル・カントの経営状況説明書提出の件 4
第14	報告第14号 繰越明許費繰越計算書の件(美唄市一般会計) 4
第15	承認第4号 専決処分の承認を求める件(美唄市税条例の一部を改正する 条例) 4
第16	議案第32号 美唄市非常勤消防団員にかかる退職報償金の支給に関する 条例の一部改正の件 5
第17	議案第33号 美唄市火災予防条例の一部改正の件 5
第18	議案第34号 美唄市役所出張所設置条例廃止の件 5
第19	議案第35号 美唄市手数料徴収条例の一部改正の件 5
第20	議案第36号 美唄市税条例の一部改正の件 5
第21	議案第37号 契約締結の件 5
第22	議案第38号 損害賠償の額決定の件 5
第23	議案第39号 美唄市字の名称及び区域変更の件 5

第24 議案第40号 平成26年度美唄市一般会計補正予算(第1号)	7
---	---

散会宣言	8
------------	---

第2号(6月17日)

開議宣告	10
第1 会議録署名議員の指名	10
第2 一般質問	11
○森川 明議員	11

1 農業行政について

(1) 企業の農業参入の現状について

農業従事者の高齢化、後継者難等、耕作放棄地の拡大に歯止め策として株式会社の農業参入が認められ、イオン、ローソン、セイコーマート、太陽グループ、王子、ツムラ等々が各地で参入している。

道農政部では、平成21年から平成25年まで55件と4倍ペースで増加しており、市町村も地域行政共存の橋渡し役として期待をしているが、市の現状について伺う。

① 企業の農業参入の状況、実績

② 今後の対応策

2 地域行政について

(1) 美唄の特産品について

全道各市町村には、それぞれ特産品がありPRに努めている。

美唄の実態はというと、北海道旅行等にきた全国の友人、知人から、必ず、美唄の特産品は何かと聞かれる。

市も市民グループによる特産品を育てようと「市民試食会」等を立ちあげ3年目との報道もあるが、あまり見えてこない。

更に、くまモン、ふなっしー等、全国のゆるキャラブームが続くなかで、キャラクターであるマミーちゃんをもっと活用すべきだ。

伺いたい点は、

① 市の特産品は何か

② 「市民試食会」の状況

③ アンテナショップの売り上げ順位

④ マミーちゃんの利用状況

3 環境行政について

(1) アスベストについて

アスベストについて、最近社会問題となっている。

中皮腫で死亡した苫小牧の教諭が、石綿が原因で公務災害と道内初の認定がされた。原因は工事現場から10数メートル離れた学校で、児童と共に掃き掃除を度々行っていた時に吸引したとの推定である。

厚労省によると、学校などの工事現場で吸い込んだケースに限らず、死亡した人は、全国で平成18年に1000人を超え、平成24年には1400人、道内は74人と増え続けている。

アスベストについて、平成20年第4回定例会でも取り上げた経緯があるが、すでに6年も過ぎ、また、石綿による疾患は20年から40年を経て発病するとのことで、市の学校を含めた公共施設、市内の企業等の現状を伺う

- ① 吹き付け石綿のある学校や公共施設、企業等の状況
- ② 教諭のアスベストに対する健康状況

4 教育行政について

(1) 市内高校生の就職率と、市内高校への進路指導について

文科省は5月16日に高校新卒者の就職率を発表した。内容は前年比0.8%増の96.6%で4年連続上昇しており、道内も同様に、最近10年間で最も高い水準となっている。

しかし、道労働局によると、入社後3年以内で辞める率は道内は51%と、全国平均より10%以上も高くなり、自分にあわない企業に入社したことが原因とされている。

また、市内の高校は定員割れがあり深刻だ。中学校における地元高校への進路指導の状況を伺いたい。

- ① 市内高校生の就職率
- ② 地元への就職率
- ③ 市内の高校定員確保に対する進路指導

(2) 学力テストについて

4月22日全国一斉に行われた学力テスト、3万643校、約224万1千人が参加した。

今回の大きな特徴として、文科省は禁じてきた市町村教育委員

会による学校別成績の公表を条件付きで認めた点で、学校の序列化や過度の競争をあおることとなり、思いやりの心を育てる教育とは到底言えるものではない。

毎年ぼう大な55億という巨費を使う、テスト実施には反対で、抽出とか、隔年実施で充分データがわかり、教育予算にあてるべきである。伺う点は、

- ① 市内の実施状況
- ② 学校別の成績公表の考え方
- ③ 「確かな学力育成プラン」の発行予定
- ④ 毎年実施ではなく、抽出、隔年で十分である。教育長の考え方

(3) 教科書の採択について

このところ文科省は、公民教科書の採択に対し、教育委員会に是正要求等露骨な強権的な動きがある。

沖縄県竹富町で、地区協議会から離脱し、町民の独自寄付で教科書を選定使用をしている件で、理由は沖縄の米軍基地の記述が少ないことでの不満で納得出来る行動である。市の協議会の現状について伺いたい。

- ① 竹富町教育委員会の行動に対し、どのように感じたのか
- ② 採択地区協議会の構成、主な意見等
- ③ 教科書展示会、6月中から下旬との事、閲覧人数等実態

(4) 教科書の検定について

教科書検定は、戦前の国家主義的教育で若者が軍国主義に向かった反省から、戦後は政治からは一線を保ち中立を継続し現在に至っている。

しかし、文科省は学習指導要領の解説指針として、今年1月、小中高校の近現代史に政府見解の記述を検定、新基準を定め、欠陥のある教科書を不合格とし、3年後に適用するという。このことは、各出版社の経営に影響があり政権の方向性を無視できなく、問題点が多い。

また、学習指導要領5年目とした来年から、教科書を大幅に増ページが予測される。扱う教諭も多忙の中で消化不良が起きかねない。詰め込み主義の弊害もある。

伺う点は、

- ① 検定に政府見解等介入すべきではない、教育長の考えを知りたい
 - ② 増ページに対し、以前の定例会質問における「すべて教える必要はない」との答弁内容は変わらないのか
- 金子義彦議員 …………… 22
- 1 農業行政について
 - (1) 主要農作物（水稲、秋小麦、春小麦、玉ねぎ、大豆）の生育及びアスパラガスの収穫状況について
 - (2) マガンによる小麦食害防止対策について
 - 2 教育行政について
 - (1) 小中学校管理下における熱中症対策について
- 丸山文靖議員 …………… 24
- 1 第三セクターについて
 - (1) 北海道中央コンピュータ・カレッジについて
 - ① 閉校後の「職業訓練法人美唄情報開発学園」のあり方について
 - ② HCCに対する貸付金について
 - ③ 国からの補助金の返還について
 - ④ 閉校後の施設の利活用と雇用について
 - (2) 美唄ハイテクセンターについて
 - ① 現時点でのハイテクセンターの入居企業数と平成25年度末の借入金残額について
 - ② 市からの借入金の返済計画について
 - ③ 活動内容と今後のハイテクセンターの役割やあり方について
 - 2 土地開発公社について
 - (1) 現在の土地開発公社の土地保有状況について
 - (2) 負債等の状況と土地開発公社の今後について
 - 3 福祉行政について
 - (1) 認知症対策について
- 吉岡文子議員 …………… 29
- 1 専修大学北海道短期大学について
 - (1) 現状について
 - (2) 施設・跡地の利活用について
 - 2 高齢者や障がい者にやさしい歩道整備について
 - (1) 高齢社会やバリアフリーの観点から検証して、本市の歩道整備

は決して整っているとは言いがたい。車道と歩道の段差解消や極端な傾斜のついた歩道などについて行政としてどのように現状を把握し、整備につなげているのか

3 教育行政について

- (1) 6月8日自衛隊美唄駐屯地の記念行事に美唄市立東中学校吹奏楽部の演奏が組み込まれていた。この件の経緯について

延会宣告 36

第3号（6月18日）

開議宣告 38

第1 会議録署名議員の指名 38

第2 一般質問 39

○本郷幸治議員 39

1 福祉行政について

(1) 認知症対策について

① 本市高齢者の認知症の実態について

② 認知症ケアパス（状態に応じた適切なサービス提供のながれ）について

③ 認知症地域支援推進について

2 教育行政について

(1) 「がん教育」の推進について

(2) 青少年の「インターネット依存」対策について

○桜井龍雄議員 42

1 農業行政について

(1) 農業基盤整備事業について

① 本年度の工事発注状況について

② 市内業者の工事受注状況について

③ 事業がもたらす様々な効果について

(2) 農政課の担当する補助事業について

2 道路行政について

(1) 市道の舗装化及び補修工事について

3 市営住宅行政について

(1) 美唄市の公営住宅各団地の空き家戸数について

- (2) 今年度の各団地の募集予定について
- (3) 過去3年間の募集回数と空き家戸数に対しての入住率について
- 4 水道行政について
 - (1) 人口減少に伴う水道事業について
 - (2) 美唄浄水場の更新について
- 高田正則議員 46
 - 1 地域振興について
 - (1) 地域経済の現状について
 - (2) 雇用の状況について
 - (3) ホワイトデータセンター構想について
 - (4) 交流拠点施設について
 - (5) アンテナショップの運営について
 - 2 防犯について
 - (1) 犯罪の発生状況と防犯カメラの設置について
 - 3 教育行政について
 - (1) 小中学校の児童、生徒数について
 - (2) 高等学校の生徒数について
- 倉本 賢議員 55
 - 1 憲法解釈の変更による集団的自衛権の行使容認について
 - (1) 市長の認識と、市民である美唄駐屯地の隊員とそのご家族の思いや、市民の持つ危機感や危惧についてどのように考えているのか
 - 2 行財政運営について
 - (1) 景気回復の実感と見通し、高齢化と社会保障の水準切り下げが景気回復でどのように影響されるのか
 - (2) 格差社会の顕著化に伴い人口減少に歯止めがきかない現状であるが、2040年には人口の生産力を示す20歳から39歳女性の将来人口推計で、2010年比較でマイナス72.1%と示された。びばい未来交響プランには具体的な人口推計と目標数値が明示されていないが、改めて説明いただき、現実的な見通しについての考え方をお聞きする
 - (3) 厳しい社会情勢の中、危機感を持った自治体運営が必要であるが、市の職員が一丸となって市民と協働したまちづくりに取り組むためにも職員の政策形成能力を一層高めることが必要であり、

研修体制と、職員が元気に意欲を持って政策提言などを行うことができる環境についてどのように考えているのか

3 公共施設等の老朽化について

(1) 公共施設やインフラに関して統廃合や改修を進めるにあたっては、住民理解が必要であり、そのためには一元化された情報提供が必要と考えるが、美唄市における現状について伺う

4 市内農業者等による農薬散布について

(1) メロディー6月号に農業者に対する農薬使用についての啓発が掲載されているが、具体的な扱いの実態と学校や周辺住民への指導や対策について伺う

散会宣告 66

第4号（6月23日）

開議宣告 69

第1 会議録署名議員の指名 69

第2 委員長報告 69

1 議案第32号 美唄市非常勤消防団員にかかる退職報償金の支給に関する
条例の一部改正の件（総務・文教） 69

2 議案第33号 美唄市火災予防条例の一部改正の件（総務・文教） 69

3 議案第34号 美唄市役所出張所設置条例廃止の件（産業・厚生） 71

4 議案第35号 美唄市手数料徴収条例の一部改正の件（産業・厚生） 71

5 議案第36号 美唄市税条例の一部改正の件（産業・厚生） 71

6 議案第37号 契約締結の件（産業・厚生） 71

7 議案第38号 損害賠償の額決定の件（産業・厚生） 71

8 議案第39号 美唄市字の名称及び区域変更の件（産業・厚生） 71

9 議案第40号 平成26年度美唄市一般会計補正予算(第1号)（予算審査特別） 72

第3 議案第41号 美唄市固定資産評価審査委員会委員選任の件 75

第4 美唄市農業委員会委員推薦の件 75

第5 意見書案第7号 「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充」を求め
る意見書 76

第6 意見書案第8号 取調べの全面可視化（取調べ全過程の録音録画）を求める
意見書 76

第 7	意見書案第9号	規制改革会議「農業改革に関する意見」の取扱に関する意見書	77
第 8	意見書案第10号	微小粒子物質（PM2.5）に係る総合的な対策の推進を求める意見書	77
第 9	意見書案第11号	鳥獣の捕獲促進体制強化の速やかな実施を求める意見書	77
第10	意見書案第12号	中小企業の事業環境の改善を求める意見書	79
第11	意見書案第13号	過疎対策の積極的推進を求める意見書	79
第12	意見書案第14号	積雪寒冷地域対策の推進を求める意見書	79
第13	意見書案第15号	平成26年度北海道最低賃金改正等に関する意見書	82
閉会宣告			83